

第2回学校運営協議会レポート③

第2回目の学校運営協議会のレポート第3弾は、永山小学校、山王小学校、取手西小学校、藤代小学校の4校の協議会の様子をレポートします。各協議会とも今後の地域学校協働活動の取組に関する協議が中心となりました。



永山小学校

- 1 会長挨拶：学習にICTが有効活用されていますが、情報リテラシーを育成する上で、情報モラルに関する教育も重要です。
- 2 校長挨拶：酷暑の中、登下校する児童を見守る、地域や保護者の目がありがたいです。本物に触れ、自分の頭で考える子を育てたいと考えるので、地域とともに学ぶ意義があります。
- 3 熟議 テーマ：永山小学校ボランティア募集について
教頭先生からのボランティア募集についての提案に基づき、熟議を行いました。
 - ・チラシ
活動がイメージできるイラスト、地域学校協働活動についての説明、目的、主な活動、連絡先
 - ・周知方法
Home&school配信、公民館・事業所・保育所幼稚園・図書館等への掲示、ホームページに掲載、回覧板、祭りや運動会等で直接周知、プリントにはQRコードを付す
 - ・機関や担当
教頭・教務が受付、ボランティア名簿作成、保険の手続き、7月中には募集開始、学校支援ボランティアとしての約束事を周知
 - ・永小祭りにおけるボランティア活用：働く方の話、昔遊び（Home&schoolで児童の保護者や祖父母に声掛け）、CS委員やPTAからの働きかけ **<7月10日開催>**



山王小学校

- 1 会長挨拶：オープンキャンパスでは児童・教師ともに多くの笑顔が見られました。工夫や準備の成果。今回の熟議は、CS委員・教師・保護者も交え、有意義です。
- 2 校長挨拶：午前为学校説明会では、PTA活動や「かかわり隊」についての質問も多く、保護者の関心の高さを感じました。
- 3 熟議 テーマ『Made in Sannouを形にしよう』
CS委員に加え、教職員・保護者有志も各グループに参加し、4グループで〈山王祭りを復活させよう〉について、話し合いました。
 - ・期日は9月20日 宗教神事的活動は行わない。
→〈山王小まつり〉をとらえる。
 - ・学校…その1か月後に運動会があるので無理のない児童発表を行う。和太鼓、盆踊り、輪投げ、ダンス、アートギャラリー等
 - ・地域…山車、櫓、昔の遊び、野菜・米提供、お囃子、法被の用意、地域の方の参加
 - ・PTA…子ども神輿、バザー、模擬店、屋台、風船つり、ストラックアウト
 - ・課題…けが、食中毒、駐車場、費用、準備期間が短い。
夏休みに話し合いを行い、実現に向かう。
- 4 その他
10月25日実施の山王小大運動会は本年も地域との共催で実施。例年、卒業生が手伝いに参加してくれるが、今年は他校卒業の藤代中学校1年生もボランティアで参加することが伝えられました。 **<7月12日開催>**





取手西小学校

- 1 CS委員長の話：地域に自信と愛着のあるシビックプライドをもち、前進できるCSや地域を目標にして今後も取り組んでいきましょう。
- 2 学校長の話：いつも温かく見守っていただきありがとうございます。一番大切なのは、心がつながることと心が成長することだと思っています。朝の対話型鑑賞を授業にも生かしたいと考えています。今後も運営のパートナーとしてご協力をお願いします。
- 3 協議 (1)学校の現状報告
 - ①10周年記念について
 - ②地域学校協働活動の状況について
共に楽しんでいる活動になっていると感じています。「西小スマイルサポーター」は51名登録があります。道具の使い方、調理実習補助、書写の片付け、読み聞かせ、花壇の整備等で協力いただいています。
- (2)「にしっ子まつり」について
昨年度実施し見えてくるものがありました。その課題を共有し改善方法の協議を行いました。
- 4 授業参観と意見交換
 - (1)子供たちはサポートされることに慣れてきて、サポートしていただいてうれしいとの声が多数ある。サポーターの皆様からも子供たちから元気と笑顔をもらっているという声が聞かれる。
 - (2)タブレットを頻繁に活用している。利便性も高いが危険もあるもので、授業のたびに繰り返しインターネットリテラシーに関する指導の必要性があるのではないか。
 - (3)子供が何事もAIに任せてしまい、考える力や自力解決が不足するのではないかと心配。
 - (4)学びを通して様々な意見が大切。異論を言い合える雰囲気醸成が大切だと思う。
 - (5)地域の消防団の活動内容と地域を守っている活動の啓発も必要である。等



＜7月15日開催＞



藤代小学校

- 1 今年度の学校教育目標及び具体的経営方針の説明
校長先生から、これまで概要のみ説明してきた教育目標と経営方針について、より詳しい説明がありました。
- 2 次年度の学校教育目標策定に向けて
続いて校長先生から、次年度の教育目標や具体的施策を決めていく際、藤代小学校でこれまでも実施してきたように、「どんな子供を育てていくのか」という視点で、教職員・保護者・学校運営協議会委員にアンケートを取る方針が示されました。
- 3 地域学校協働本部・活動について
 - (1)活動に関する地域と学校の要望やニーズについて
以前の学校運営協議会で委員さん方から提案された、学校と地域の連携による学習について振り返りました。さらに、学校の先生方へのアンケート結果として、「休み時間の見守り」「校外学習の引率・見守り」「校庭の除草作業」、さらに「昔遊びの講師」「3年生総合的な学習の時間における講師」などの希望が示されました。
 - (2)地域学校協働活動の内容の提案
昨年度の実績をもとに、「地域から学ぶ」活動と、「地域行事」への積極的参加、希望する「学習支援」の内容などを確認しました。
 - (3)地域学校協働本部の整備（募集方法等）について
地域ボランティアの組織を立ち上げるため、募集のチラシを作成し、それを地域の住民に広く周知するための方法について二つのグループに分かれて話し合いをしました。



地元企業も含めたチラシの配付、社会体育団体等への呼びかけ、回覧板の活用などの意見が出されました。また、協働本部の組織の名称については、各委員さんからアイディアを募り、それを参考に今後決定していくことになっています。

＜7月17日開催＞